建通新聞　＜第三種郵便物認可＞

4面からつづく

（江戸川区臨海町二丁目2）
6815万8140円　恒栄電設

▽都営日野新町一丁目アパートほか1団地共用灯、駐車場灯、屋外灯及びその他工事（日野市新町1―13ほか）
5098万8500円　山本電機

▽都営長房アパート（1～4、W―7、9、10、14、24、25、28、29号棟）共用灯、駐車場灯、屋外灯及びその他工事（八王子市長房町588）
7243万6593円　金子電気商会

▽令和5年度コーシャタワー佃空家リニューアル工事（中央区佃二丁目2―11）
不調

▽コーシャハイム坂下機械式駐車場入替及び平面化工事（板橋区坂下3―10）
不調

▽都営新河岸二丁目アパート（5～7号棟）除却工事（板橋区新河岸2―876）
1億6282万3千　スクラム

▽都営千住元町アパート（2号棟）ほか1団地雑排水管及び屋内汚水管修繕工事（足立区千住元町34ほか）
2266万　上下水道促進工業

▽コーシャハイム南葛西五丁目電気自動車用充電設備設置工事（江戸川区南葛西5丁目18―1）
623万　ネットワークサービス

▽都営柴又一丁目アパートほか2団地共用灯、屋外灯及び自転車置場灯改修工事（葛飾区柴又1―38ほか）
861万6670円　拓新電気

▽都営用賀一丁目アパート柵改修及び植樹工事（世田谷区用賀1―16）
不調

▽区立ファミーユ柏木（B）外壁改修、屋上防水及び鉄部塗装工事（新宿区北新宿3―40―2）
3690万　ベクトル

▽都営清瀬竹丘一丁目アパート（2～9、12～15、17～19号棟）ほか1団地共用灯、屋外灯、駐車場灯及びその他工事（清瀬市竹丘1―5ほか）
4356万7270円　ケイアンドアイ

▽区立京島三丁目第7コミュニティ住宅屋上防水、外壁改修、鉄部塗装ほか4団地外壁改修、鉄部塗装及びその他工事（墨田区京島3―3―6ほか）
4042万9700円　ワールド

▽南砂住宅（5号棟）換気設備改修工事（江東区南砂2―3）
4683万7千　東京ガスリビングライン

▽平尾住宅（1号棟102号室）ほか282住戸給湯器取替工事（稲城市平尾3―1―1ほか）
6874万9422円　エネライフ

▽都営橋場二丁目アパート屋内、室内給水管改修、増圧直結給水ポンプ設置及びその他工事（台東区橋場2―18）
8516万2千　丸ノ内工業

▽港南五丁目測量委託及び道路設計委託（詳細）（港南五丁目2番先）
1046万　協振技建

▽街路灯維持工事（建替）（三田一丁目2番先から3番先まで）
1897万4600円　電双テック

▽元赤坂一丁目測量委託及び道路設計委託（詳細修正）（元赤坂一丁目7番先から元赤坂二丁目1番先まで）
760万　弘洋第一コンサルタンツ

▽港区立小中一貫教育校赤坂学園赤坂小学校プール改修工事（赤坂八丁目13番29号）
548万　コウフ・フィールド

▽台東リバーサイドスポーツセンター陸上競技場地下1階機械室排気ファン交換工事
64万3千（随）　サン空調

▽文花出張所増圧給水ポンプ改修工事（文花一丁目32番1―102号）
1095万　大迫工業

▽しらひげ保育園受変電設備改修その他工事（堤通二丁目5番5―101号）
1300万　甲信電気

▽航空写真による道路判定のための解析委託
56万　八州

▽令和5年度自動車騒音常時監視委託及び自動車騒音振動要請限度調査委託（指定場所）
167万　CTーウイング

▽富士見ケ丘児童遊園複合遊具等改修工事（西大井五丁目7番3号）
5020万　西村造園土木

▽しながわ区民公園駐車場他補修工事設計委託（指定場所）
220万　テクニカルエイト

▽しながわ水族館受変電設備改修工事（勝島3―2―1）
720万　大雄電業

▽ゆたか図書館自動火災報知設備改修その他電気設備工事（豊町1―17―7）
337万3千　西村電機

▽工事4号特別区道豊816―1電線共同溝設置工事（東池袋四丁目自30番先至29番先）
1億1100万　荒木建設工業

▽フェンス設置工事（港区）
1200万　アートフェンス工業

▽道路概略修正設計（5北南―府中3・4・3Ⅱ期）（府中市南町一丁目地内から同市住吉町二丁目地内まで府中3・4・3狛江国立線）
1015万（随）　東光コンサルタンツ

▽電線共同溝予備設計（5北北―昭島3・2・3）（昭島市もくせいの杜一丁目地内から同市中神町地内まで昭島3・2・3国営公園南線）
841万（随）　トーニチコンサルタント

▽昭島市立成隣小学校体育館屋根防水修繕（大神町四丁目4番1号）
680万　常光

▽令和5年度国立市南部中継ポンプ場改築工事（機械設備工事）（谷保七丁目28番地の3）
2805万9300円　第一テクノ

▽町田437号線自転車走行空間整備工事（木曽西一丁目・四丁目、木曽東三丁目地内）
1295万5801円　岡三建設

▽町田市自然休暇村給排水衛生設備改修工事（長野県川上村秋山53番地15）
9984万2千　タナカ設備

▽ペデストリアンデッキ点検調査業務委託（森野一丁目地内）
757万　パスコ

▽南大谷子どもクラブ外38施設定期点検業務委託（南大谷264南大谷子どもクラブ外38施設）
198万　新日本技術

▽自由民権資料館収蔵庫空気調和設備改修工事（野津田町897番地）
921万4400円　八設

区関係

●港区（10月2日）

●台東区（10月2日）

●墨田区（10月3日）

●品川区（9月19日）

●新宿区（10月2日）

●豊島区（10月3日）

●警察庁皇宮警察本部（9月15日）

●国土交通省関東地方整備局港湾空港部（9月29日契約）

国その他

●国土交通省江戸川河川（9月25日契約）

●日本下水道事業団東日本本部（9月28日）

●東京都住宅政策本部西部住宅（10月3日）

●東京都建設局西多摩建設（9月28日）

●東京都建設局北多摩南部建設（9月28日）

●東京都建設局北多摩北部建設（9月22日）

●国立市（10月3日）

●町田市（10月2日）

結果

事後公表メンバーは電子版に掲載しています

多摩地区の結果・予告

都関係は多摩地区事務所分のみ掲載

予告

★大田区【10月13日開札】

▽電子入札・主要第23号線電線共同溝試掘調査工事（池上新参道）（1工区）（池上一丁目34番から池上一丁目33番先）
案件番号2023―008　13

▽再構築基本設計（ストックマネジメント全体計画及び実施計画）業務委託（埼玉県さいたま市地内）
9460万（随）　NJS

▽9467万

Interview

夢真　代表取締役社長
小川（おがわ）　建二郎（けんじろう）氏

建設業界の働き方改革で、「個の尊重」は重要なキーワードだ。施工管理技術者派遣のトップランナー・夢真（港区）の小川建二郎社長は「ワークライフバランスを第一に考える若者も多く、求める働き方と価値観が変化している。人材定着には個人を大切にした組織づくりが求められている」と強調する。同社は建設業の高齢化に備えて2000年ごろから未経験の若い人材を育成し、即戦力に育て上げる独自のノウハウが強みだ。業界課題に向き合う小川社長に人材育成・定着のポイントを聞いた。

女性が定着するフォロー体制とは

―未経験者が成長できる環境づくりとは。

「当社では年間2000人の若手未経験者を大規模採用している。施工管理の仕事に対するイメージギャップを早めに取り除き、現場に適用しやすいように他社にはない実践型の研修も数多く取り入れている。また、資格合格まで導く教育体制が夢真の強みであり、そこに魅力を感じて入社する社員も多い。在籍する施工管理技術者数は6200人を超えた。ポイントを絞って学べる『2級建築施工管理技士補　受験対策講座』のeラーニングも無料で提供し、現場までの通勤時間や空き時間で勉強できる環境づくりをサポートしている」

―定着推進のフォロー体制を聞きたい。

「同業他社を含めた建設施工管理派遣業としての離職率は30％以上。定着率を上げるためには、稼働前のイメージと現場配属後の実際の仕事内容を埋めることが何よりも重要だ。当社では昨年6月に技術者の成長に伴走する専属部署『キャリアデザイン推進部』を立ち上げた。研修から現場まで一貫して技術者をサポートする新体制となり、現場配属後のフォロー担当者と研修担当者の情報共有が促進され、今まで以上にフォローできる体制に進化した。夢真での建設施工管理技術社員の定着率は高まり、年間離職率は20％程度に改善した」

―女性技術社員の比率が高いと聞く。

「業界に先駆けて女性施工管理技術者を積極的に採用してきたこともあり、直近2年間で女性技術者が15％増加した。当社の技術社員は4人に1人が女性だ。これは建設業界の平均に比べて高い比率となり、施工管理もしくはCADオペレーターの技術者として多くの女性が活躍している。4月からは、女性技術者員が建設現場で継続的に活躍できる未来を目指すプロジェクト『ゆめ小町』が始動した。女性のフォロー担当者を増やし、女性技術社員の定着を高める体制を強化している。施工管理の仕事は不定期な働き方もある。例えば、ライフスタイルが変わる中で、施工管理を続けることが難しくなった女性に、CADなどの仕事にキャリアチェンジできる支援体制もある」

―今後、夢真が担う役割はどのようなものなのか。

「われわれは人材を囲い込むことはしていない。建設技術者が派遣先の建設会社に転職したい意向があれば、積極的に応じている。今期の転職は140人程度。若い人材が今後のキャリアアップを描けるように、顧客企業への転職の選択肢も歓迎している。建設業界に興味を持つ若者を一人前の技術者に成長させることが使命と考えている。若い世代に向けた『学び、成長する』教育機関の役割も担っていきたい」（ビジネス開発事業部＝大西正太）

東京都造園緑化業協会
若手技術者研修会を開催

東京都造園緑化業協会（卯之原昇理事長）は9月29日、都内で造園若手技術者研修会を開いた。20～30代を中心とする技術・営業職の若手社員19人が参加し、造園技術や都市緑化を学んだ他、同年代同士で造園業界への期待や悩みなどを語り合い交流を深めた＝写真。

冒頭、協会の山下博史専務理事があいさつし、業界内での横のつながりの重要性を説き、「積極的にこの機会を活用してほしい」と求めた。

研修会は、関東大震災から100年の節目であることを受け、防災公園をテーマに実施。地元住民の要望により、造幣局地区防災公園街区整備事業として整備された、豊島区立としまみどりの防災公園（イケ・サンパーク）で行った。

同公園の指定管理者業務を務める日比谷アメニスの村田尭弘管理事務所長が、コロナ禍での開園当時から現在までに直面した課題、対応策について、同公園のコンセプトに基づいた管理手法を交えて紹介。その後、公園内を視察し、かまどベンチなど防災施設を確認した。

また、豊島区公園緑地課の職員が「池袋駅周辺4つの公園を核としたまちづくり」と題して講演した。